

農業発展に尽力で直方市表彰

12月18日、直方市市政功労賞の表彰式がありました。市の公益および自治の振興発展に功績があり、市の名を高めることに寄与した人たちが対象で、今回の市政功労賞には森 勝久さん（75）が選ばれました。

森さんは平成11年～令和2年の7期21年間、直方市農業委員会委員として、地域農業の発展に尽力。地域の担い手や認定農業者の育成、耕作放棄地の発生防止とその解消に取り組んできました。市長は「市の農業発展に尽力いただき、大変ありがたい」と感謝の意を表し、表彰状を贈りました。



まちの話題



スポーツ推進委員功労者表彰を受賞

12月22日、スポーツ推進委員功労者表彰を受賞した武内 道明さん（70）が報告のため市庁舎を訪れました。公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合が、長年にわたりスポーツ推進委員としてスポーツ振興に貢献した人または団体を表彰するもので、市では武内さんが初受賞。武内さんは26年間、スポーツ推進委員として地域スポーツの普及振興に尽力してきました。特に遠賀川でのカヌー事業では、公認指導員として子どもから高齢者まで、すべての人が楽しめるよう活動し、事業の礎を築きました。

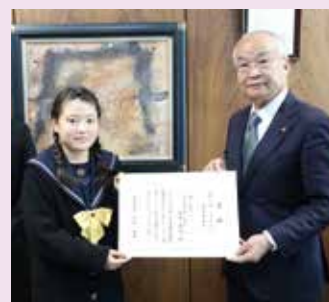
武内さんは「様々なスポーツを楽しんできた。若い人にもスポーツ推進委員として活躍してもらいたい」と話しました。



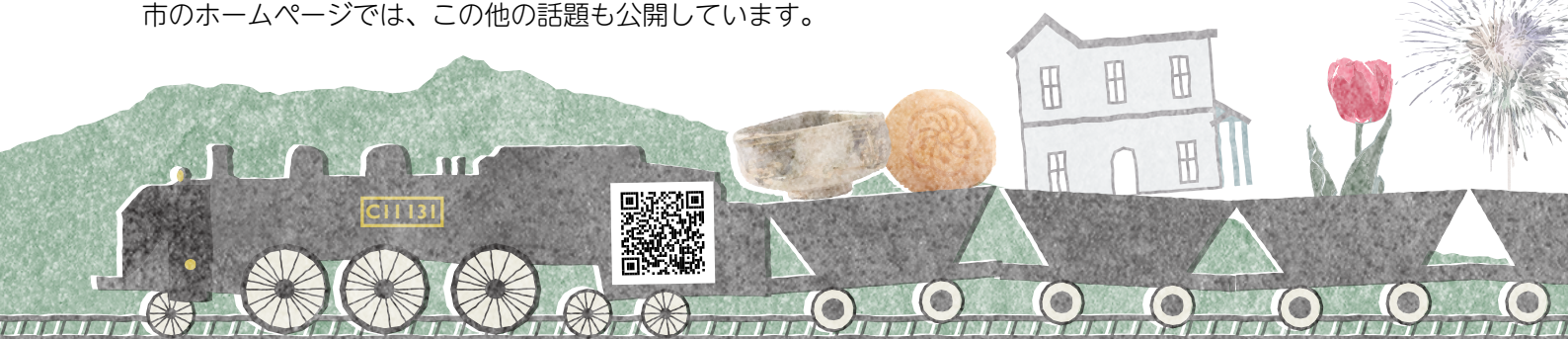
夢プロジェクト2020表彰式

12月17日、直方第二中学校で「夢プロジェクト2020」の直方市長賞表彰式が開催されました。直轄地域の小中学生にモノづくりへの関心や親しみを持ってもらうために、直轄地域の企業等で構成された「直轄次世代産業研究会」と「直轄産業振興センター（ADOX福岡）」が「まち」がよくなるアイデアを募集したものです。今回、178作品の応募のうち、7つのアイデアが次世代産業研究会会長賞などに輝きました。

市長賞を受賞した同校中学1年生の服巻 佐和さんは、会いたい人の写真や持ち物を建物に持ち込むと実際に会うことができる「思い出館」を発案。服巻さんは「漫画に登場するキャラクターに会えたらと思ったのがきっかけ」と語りました。



市のホームページでは、この他の話題も公開しています。



コロナ禍でも希望に満ちて「令和3年直方市成人式」



1月10日、直方市成人式がユメニティのおがたで開催されました。新成人対象者520人のうち、当日来場したのは327人です。スーツ姿・振り袖姿の新成人たちが、会場を華やかに彩りました。式典は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、時間を短縮して実施されました。

市長は挨拶で「家族や仲間、周りの人々に支えてもらった感謝を忘れずに。君たちの可能性は無限大です。夢に向かって1日1日、努

力を積み重ねてください」とエールをおくりました。また、新成人代表として栗田 亜彩斗^{あさと}さんは「こんなつらい時にこそ、地元・直方の温かさや仲間の支えを糧にして笑顔で乗り越えていきましょう。皆様への感謝の気持ちと直方で生まれ育った誇り、そして成人としての決意を胸に刻み、これからの試練一つ一つを乗り越えていきます」と誓いました。



〔写真左上〕しっかりと
した感染防止対策で開催
〔写真右上〕節目を迎え
た新成人の皆さん
〔写真左下〕新成人代表
として挨拶する栗田さん

